

みやこんじょ



No.65

発行日 令和3年11月1日
発行 独立行政法人国立病院機構
都城医療センター
宮崎県都城市祝吉町5033番地1
TEL 0986-23-4111

基本
理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心し、信頼できる病院をめざします

歯科口腔外科の紹介



歯科口腔外科
部長 田畑 雅士



歯科口腔外科
医長 新屋 俊明



歯科口腔外科
医師 西久保 舞

国立病院機構都城医療センターの歯科口腔外科は常勤歯科医師3名、非常勤歯科医師2名、歯科衛生士3名、看護師1名の体制で日常診療を行っています。

歯科口腔外科としては口腔癌の治療を中心に行っております。進行癌に対しては放射線科と共同で腫瘍に対する栄養血管にカテーテルを挿入し、抗がん剤を局所に投与する超選択的動注療法を放射線治療と並行して行っております。

また、歯周病の治療については、高度に進行した歯周病に対して、歯周組織再生術を行っております。また、最近増加傾向にある、インプラント周囲炎に対しても、欠損したインプラント周囲の骨の再生術を行っております。

最近骨吸収抑制薬関連顎骨壊死が増加してきております。悪性腫瘍に対する高用量で数%、骨粗鬆症への低用量では0.1%とされていますが、この地域の特性でしょうか（糖尿病の罹患率等）、印象としてはもっと高頻度ではないかと危惧しています。発症リスクを低下させるために歯科医師の果たす役割は増えてきていると思います。写真は腐骨分離が起こり自然治癒した症例ですが、なかなか分離しない治療抵抗性の症例も多く経験しています。

全身麻酔下での手術、放射線治療、化学療法を行う当院がん患者等に対して、

- (1)術後の誤嚥性肺炎のリスク軽減
- (2)歯牙の破折や脱落などの気管内挿管時のリスク軽減
- (3)術後の経口摂取再開の支援
- (4)口腔咽頭、食道手術における術後合併症のリスク軽減
- (5)口腔粘膜炎、薬剤関連顎骨壊死、放射線性顎骨壊死のリスク軽減
- (6)がん患者のQOL向上
- (7)がん患者治療成績向上

を期待して、周術期口腔機能管理を行っております。令和2年度は670名の当院患者に対して実施しました。

当院では歯科治療が困難な方に対して、全身麻酔下での歯科治療が可能です。障害者歯科学会の指導医の森主宜延先生が定期的に来られて、障害者の方の歯科治療を行っております。

(歯科口腔外科部長 田畑 雅士)

肺がん 骨転移の方で抗ランクル抗体使用



抜歯後に顎骨壊死



5ヶ月後



右下顎6の抜歯後、MRONJ
局所麻酔下に掻爬術を行うも再発、
以後外来で洗浄を繰り返し、約5ヶ月後に腐骨分離し上皮化し治癒

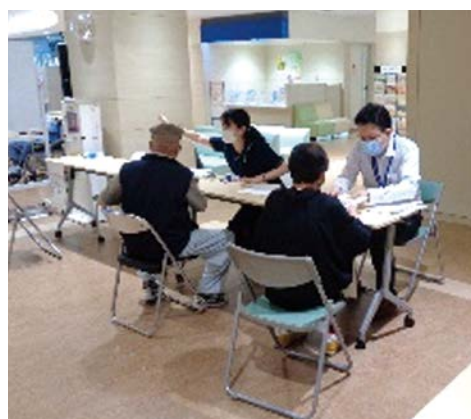
リソースナースの活動：新型コロナワクチン接種について

感染管理認定看護師 福丸 和也

新型コロナウイルス感染症が世界的な感染流行を引き起こし、1年半が経過しました。感染力の強さやウイルスの特徴からも制御が難しい感染症ですが、ワクチンが開発され、接種が進んでいる高齢者の感染率や致死率が大きく下がりました。当院でも職員接種を2021年3月より開始し、現在では基礎疾患のあるかかりつけ患者さんを対象に個別接種を行っています。開発されて間もないワクチンですので、接種することへの不安を軽減できるようにワクチンに関する情報を発信し、起こりうる副反応への対応を万全にできるよう環境を整え接種を進めました。

このワクチン接種では、接種計画やワクチンの管理、接種、接種後の観察や接種票の管理など、医師、看護師、薬剤師、事務職員など多くの職員の協力のもと実施することができています。「感染拡大を防ぎ終息を目指す」という一つの目標に向かう協力体制や連携こそが感染症対応には大切なことであることを実感しています。

「ワクチンを打ったから大丈夫」ではなく、基本的な感染対策は継続していく必要があります。これからも院内一丸となり感染対策を継続し、地域の皆さんの健康と安心を守るために取り組んでいきたいと思えます。



コロナウイルス対応にかかる看護師派遣について



今回、厚生労働省から新型コロナウイルス感染症対応にかかる看護師派遣要請を受け、兵庫県の病院に約1か月間（6月）勤務しました。派遣先の病院では、軽症から中等症患者を受け入れており、20代～80代と幅広い年齢層の方が入院されていました。感染症病棟は閉鎖的な空間な上、様々な制限が生じます。入院患者の中にはスマ

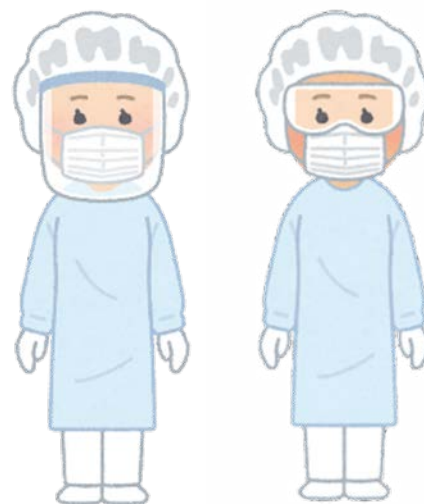
ートフォン等で多くの情報を得られるがゆえにさらなる不安を募らせてしまうケースもありました。基礎疾患のある患者の重症化リスクは高く、数時間単位で病状が悪化し、重症受け入れ病院への転院搬送も多くありました。患者・家族の抱える精神的な負担は大きく、様々なケースに対応できるよう、日々看護師間でカンファレンスが行われていました。昨年からの病院や施設での面会制限が強い中、私たち看護師に求められること、できることについて考え、その必要性について再認識することができました。

医療従事者は、十分な感染対策を行い処置やケアにあたっていました。病棟スタッフ含め私自身も、自身や他者への感染リスクに不安を抱くこともあり、患者、医療従事者双方の立場に立ち、安心・安全な医療の提供ができるような対策が必要であると実感しました。

また、地域に向けても感染管理認定看護師が小中学校への手洗い指導など積極的に行われており、地域全体で感染防止に取り組んでいました。

短期間ではありましたが、様々な経験をし多くのことを学ぶことができました。他施設の状況や取り組みを院内でも情報共有し、日々の看護に活かしていきたいと思います。病院、病棟スタッフの方々の支援のもと、このような貴重な機会を頂いたことに感謝いたします。

（看護師 堀内 敦美）



知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

連携医療機関のご紹介

さくらやまクリニック

住所：鹿児島県志布志市志布志町安楽 6179-1

電話：099-472-1100

FAX：099-472-1139

診療科目：泌尿器科（人工透析）、内科

休診日：木曜・土曜午後、日曜祝祭日



院長 時 一毅 先生

当院は平成25年9月11日、志布志市に泌尿器科診療・人工透析を主として開業しました。住所は志布志市ですが、有明町野井倉台地の端に位置する、田舎にある小さなクリニックです。

開業後9年目を迎え、地域住民からの認知度も高まり、色々な相談を受けることが多くなりました。当初は通常の泌尿器科外来・維持透析だけでしたが、近年は在宅医療のニーズに応える形で、地域の訪問看護ステーションと連携して、（人工透析を行っているので急な往診は対応困難ですが、）木曜午後の外来休診日に泌尿器科終末期や腎不全透析見合わせの患者さんと、在宅で最期を迎えたいという方の訪問診療を行っています。

また曾於医療圏は医療過疎のため、泌尿器科ですが、新型コロナウイルス感染症に対応した発熱外来や、今年5月からは新型コロナワクチンの接種など、地域医療の協力をさせて頂いています。

入院施設がないため、入院が必要な泌尿器手術や透析患者の症例を都城医療センター泌尿器科にお世話になっております。特に透析患者は急な状態変化をきたす為、急患として紹介することが多々ありますが、二つ返事で引き受けてくださる現在の体制は非常にありがたく、感謝しています。

今年都城志布志道路が開通し、都城市へのアクセスがより容易になりました。



その影響か都城市の医療機関への紹介を希望する人が増えていきます。（新型コロナウイルス感染症さえなければどんどん紹介したいのですが、）地域医療を支え、無理の無い医療を提供するに当たり、都城医療センターの様な基幹病院と連携することは重要だと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

ふれあい看護体験



7月29日（木）に都城市内高校生10名の参加による「令和3年度ふれあい看護体験」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度は開催が急遽中止となり、今年度も開催が危惧されました。しかし、このような時だからこそ少しでも看護体験を通して看護の心や看護師の仕事の理解を深めてもらいたいという思いもあり、人材確保プロジェクトチームのメンバーを中心に計画し開催することができました。入院されている患者さんとの触れ合い体験はできませんでしたが、高校生同士での血圧測定や肺音聴取、新生児人形での体重測定、車いすやストレッチャー移動体験など実施しました。参加された高校生の皆さんは、初めて白衣を身につけ緊張していましたが、体験内容に興味を示し、次第に表情もほぐれていきました。担当した看護師に質問する様子もみられました。

体験後の座談会では、「将来看護師をめざしたい」「やりがいのある仕事だと感じた」等の感想がきかれました。3時間という限られた時間ではありましたが、看護体験や看護師との意見交換を通し、看護への関心を深めていました。今回の経験で、一人でも多くの高校生が看護師に興味を持ち、今後の進路選択のひとつに繋げてくれることを願いたいと思います。

（教育・研修部副部長 和氣美紀）

～ふれあい看護体験に参加した高校生の感想～

- *看護師さんから、今までの体験や、やりがい、つらかったこと等参加できたからこそ聞ける話ばかりだったので本当に良かった。
- *看護師さんが患者さんに優しく声をかけているのを病院内で見かけて、私も将来そのような看護師になりたいと思った。
- *実際に車いすに乗ったり、ストレッチャーに乗って患者さんの気持ちを知ることができた。



外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人
国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30 ~ 11:00

【2021 年 10 月 1 日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 ※2	初診	血液 肝	前田 宏一		佐藤 誠一	
	再診	加藤 順也				
		前田 宏一 佐藤 誠一	前田 宏一 佐藤 誠一	前田 宏一 佐藤 誠一 田 藤 宏一 藤 藤 誠一	前田 宏一 田 藤 宏一 藤 藤 誠一 高 順 誠一 佐 智 一徳	前田 宏一 田 藤 誠一 佐 順 誠一
循環器内科	一般	剣田 昌伸	剣田 昌伸	剣田 昌伸		剣田 昌伸
	特殊			心筋症外来 (午後) 睡眠時無呼吸外来 (午後)		
呼吸器内科	初診	白濱 知広		白濱 知広	今津 善史	
	再診	今津 善史 白濱 知広	今津 善史 白濱 知広	今津 善史 白濱 知広	白濱 知広	今津 善史 白濱 知広
呼吸器外科	初診	手術日	加藤 文章	手術日	加藤 文章	加藤 文章
	再診	手術日	加藤 文章	手術日	加藤 文章	加藤 文章
小児科	午前	1 診 久保田 力	入江 慎二	若松 美仁	松本 昂之	裴 孝俊
	午後	1 診 入江 慎二	久保田 力	松本 昂之	若松 美仁	入江 慎二
		2 診 若松 美仁	裴 孝俊		久保田 力	松本 昂之
		3 診		シナジス外来 (8月~3月)		
外科	初診	小森 宏之		小森 宏之		甲斐田 剛圭
	再診	甲斐田 剛圭 小森 宏之	手術日	田尻 拓哉	手術日	甲斐田 剛圭 加藤 梨佳子
	特殊	乳腺(小森宏之)		乳腺(小森宏之)		乳腺(小森宏之)
消化器病センター	初診		駒田 直人		駒田 直人	
	再診	藤原 利成	駒田 直人	内視鏡検査・治療	駒田 直人	駒田 直人
	内視鏡	駒田 直人				藤原 利成
N S T 外来			駒田 直人 (第二、四火曜日 14:00~16:00)			
整形外科	初診		濱吉 浩朗 川 越 悠輔	手術日	濱吉 浩朗 川 越 悠輔	
	再診	吉川 教恵	吉川 教恵		川 越 悠輔	吉川 教恵
	特殊検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査
リウマチ科※2	初診	濱田 浩朗	濱田 浩朗	手術日	濱田 浩朗	濱田 浩朗
	再診	濱田 浩朗 吉川 教恵	濱田 浩朗 吉川 教恵		濱田 浩朗	濱田 浩朗 吉川 教恵
泌尿器科	1 診		山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	慶田 喜文	山崎 丈嗣
	2 診	手術日		慶田 喜文		慶田 喜文
皮膚科			中山 文子 (9:30~13:00)		中山 文子 (9:30~13:00)	中山 文子 (9:30~13:00)
神経内科					杉山 崇史	
産婦人科	初診	徳永 修一	古田 賢	徳永 修一	宮崎大学医師 古田 賢	古田 祐美
	再診	古田 祐美	徳永 修一	古田 賢	宮崎大学医師	徳永 修一
耳鼻咽喉科	一般	外山 勝浩 山本章裕	外山 勝浩 山本章裕	外山 勝浩 山本章裕	外山 勝浩 山本章裕	手術日
	難聴外来	(14:00~17:00)				
放射線科	放射線治療	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹
	画像診断	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一
歯科口腔外科	一般	田畑 雅俊 西久保 明舞	田畑 雅俊 西久保 明舞	田畑 雅俊 西久保 明舞	田畑 雅俊 西久保 明舞	手術日
	ペインクリニック					横山 幸三 (終日手術・外来不定期)
	障がい者歯科					森主 宜延 (月2回)
がんサポート外来						岩崎 竜馬
緩和ケア外来						林 章敏 (第四金曜日)
特殊外来		マザークラス (第二土曜日・第四月曜日)	フットケア外来	リンパ浮腫外来 助産師相談室 (午後)	リンパ浮腫外来 P I C C 外来 (午後)	ストーマ外来(午後) 母乳外来 遺伝カウンセリング外来 (14:00~15:00)

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。

※2 医療機関の方へ：血液内科、リウマチ科の初診については、事前に初診紹介予約申込書と共に、最新の血液データを送ってください。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893

独立行政法人
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/621-miyakonojo@mail.hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会